

自己評価結果等届出書

令和 8 年 2 月 28 日

鹿児島市長 殿

1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	株式会社サクラバイオ				
事業所の名称 (施設名)	就労準備型放課後等デイサービス グッドジョブカレッジ				
事業所番号	4650100128				
事業の種別	児童発達支援	<input type="radio"/>	放課後等デイサービス		保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市大黒町3-27-2F				

2 公表状況

公表日	令和 8 年 2 月 28 日	
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択)	ホームページ ↓ 2 にURLを記載
	2. 内容	https://goodjob.group/profile/#disclosure
	※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。	

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	市来 理恵
連絡先 (TEL)	099-224-1177

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	就労準備型放課後等デイサービス グッジョブカレッジ		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 13日		～ 令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 16
○従業員評価実施期間	令和8年 1月 13日		～ 令和8年 1月 31日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・就労準備型放課後等デイサービスとして、「はたらくチカラを育む」場所となるよう、実践的なカリキュラムを意識している。	・将来「はたらく」を意識したカリキュラムとして「お仕事マナー」「ジョブトレ」「模擬会社」を実施している。「ジョブトレ」では実店舗を借りて、調理、接客の実践的な活動を行っている。「模擬会社」は年2回実施。企画から販売まで生徒さんが自主的に「自分たちで作りに上げていくこと」を意識して取り組むことができるよう、支援している。	生徒さんが自身が、より楽しく、よりリアルに「はたらく」を意識できるよう「ジョブトレ」では実際に実店舗のメニューのレシピを借りて再現している。生徒さんが達成感、充実感を感じることができるよう、工夫している。
2	・保護者との情報共有を大切にしている。	・保護者の方々からお子さんについての対応の仕方や課題について相談があった際は、スタッフ間でも共有を行い、保護者の了承を得た上で学校や医療機関とも連携を図りながら、対応を行っている。生徒さんに関わる関係機関との情報共有を密に行い、保護者の方も含めて、多方面からの支援ができるよう、意識している。	生徒さんが、カレッジだけでなく、他事業所を併用利用されている場合、情報共有がほほない状況であるため、担当者会議等をおとして日頃から連携できる関係作りを意識していきたい。
3	・卒業生した後も繋がり続け、必要に応じて相談等に対応している。	・カリキュラムの中に「卒業生と交流できるカリキュラム」を定期的に取り入れている。また、卒業生に講話をしてもらう機会を作っている。在籍している生徒さんにとっては先行く先輩が立派にはたらく姿が励みになっている。	卒業生の中でも進学・就職さまざまな進路についている方がいるため、より卒業生の進路選択について話してもらえる機会を多く作っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・カリキュラム内容の段階設定	・継続して行うカリキュラムについて、具体的に段階を設定していなかったため、生徒たちの達成感や自信に繋がりにくかったのではないかと。	・月ごとに目標を立て、目標を達成するために段階的なカリキュラムを実施していく。回を重ねるごとに生徒の自信に繋がると、自分自身でできたことを実感し、自分の中でレベルアップを感じることができるように工夫していく。
2	・余暇活動を意識したカリキュラムの充実と実施	・将来余暇を楽しむためのカリキュラムを意識して実施しているが、必ずしもニーズに合うものではないかと。	・生徒たちが、将来の自立した時の「余暇活動」のヒントをたくさん得られるよう、より幅広く情報を集め、その人がその人らしく人生と楽しむことができるような「余暇活動」の提案をしていく。
3	・避難訓練の日程や内容をあまり認識されていない	・毎月のカリキュラムの中で実施日は表記されているが、年間を通して回数が多い回数が多くなかったため、認識されていないのではないかと。	・避難訓練実施の際には、保護者に訓練の詳細や避難場所を伝える。 ・訓練の内容によってもっと実施日を増やしていく。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 就労準備型放課後等デイサービス カレッジいつろ

公表日 令和8年 2月 28日

利用児童数 50

回収数 16

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	2		2		・通ってくださっている生徒一人ひとりに対して寄り添った支援を心がけております。 ・基本的に職員3名~4名体制で支援を行っております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12		2	2		・事業所が2階にあるため不便なところもありますが、フォローが必要な生徒に対してはバス停までの付き添いなども対応しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	2				・状況によって柔軟に対応できる環境を心がけております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16					・朝礼で前日の振り返り、当日の流れの確認をしております。生徒たちの様子を常に共有し対応をしております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16					・生徒さんたちにとって将来役立つ内容を楽しみながら学ぶことができるよう カリキュラムを組み立てております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					・保護者の方との面談でニーズを把握し、お子さんの成長や課題を共有しながら作成しております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	2				・本人支援にかたよりがちでしたので、家族支援、移行支援の視点も含め、具体的な内容を共有検討し、反映させてまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					・その時に必要な練習やスキルの向上を意識してスタッフ間で情報を共有しながら統一した支援を行っております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1				・将来「はたらくチカラ」を楽しみながらつづけることができるよう、実践的なカリキュラムを取り入れながら、通ってくださる生徒の皆さんが飽きの来ない内容で活動プログラムを実施しております。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	6	2	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15		1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15		1			・定期的ではありませんが、保護者の方のお困りごとなどあった際に柔軟な対応ができる研修は整えておりますので、遠慮なくお伝えいただければと思います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができてきていると思いますか。	16					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	4		1		・定期的な面談は半年に1回ペースではありますが、日々のご相談などメールやお電話でも対応させていただいておりますので、遠慮なくお伝えいただければと思います。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	6		1		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	3		1	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15			1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	3		4	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	5		3	・年に2回、避難訓練週間を作り、地震、火災、水害等、災害が起こった時に備えて実際に避難の仕方、場所を確認しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	5		2	・自立に向けてという意味で送迎は行っておりませんが、公共交通機関のご利用が一人だとまた不安な生徒の方に対しては本人が慣れるまで行き送りの付き添いも行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状態等について説明がされていると思いますか。	10	1		5	・ご契約の際に基本情報をいただいておりますので、そちらを元に早急なご連絡を心がけております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1			・安心して居心地よく過ごすことができるよう、環境設定や声かけ等心がけております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1			・生徒の皆さんが少しでも楽しく通えるようにスタッフも積極的にコミュニケーションを取っていきたく思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1			・通っている生徒の皆さんだけでなく、保護者の皆様も少しでも満足できる事業所になるため、日々の試行錯誤を繰り返しながら皆さんと一緒に作り上げていきたいと思っております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		就労準備型放課後等デイサービス グッジョブカレッジ				公表日	令和8年 2月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		職員用の事務所があり、個人情報が保たれている。			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			生徒の不安時に、気持ちの切り替えができるスペースがあれば良いと思う。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○					
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○					
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日ミーティングを実施している。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		システム（HUG）により、保護者とのやりとりができるのが良い。			
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○					
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月職員研修が実施されており、学びの機会を得られている。			
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○					
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○					
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		生徒の支援に関わる全てのスタッフに共有し共通理解のもと、支援を行っている。			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○					
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		それぞれ担当がいるが、すべて共有しながらチーム全体で取り組んでいる。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		生徒のニーズや季節を感じるカリキュラム等も取り入れながら工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			児童発達支援センターとの連携をしていないため、必要に応じて助言や研修を受けたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>			地域の子友達との交流や児童クラブとの交流をしていないため、行事等を通して交流を意識していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		ご相談があった際には個別に面談等行いながら、対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			訓練の詳細や避難経路等を伝えていく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>				